

2025年度 社会福祉法人 恵寿会 事業報告

※内容として、各委員会報告と重複する点があります

1. 主要事項

令和7年度の経営方針に対する評価及び反省について記載する。

1) 各事業において、ご利用者やご家族の思いを受け止め、納得頂けるサービスを共に考えていきます

障害福祉においては利用者の意思決定支援が重要視される中、これまで以上に個別支援計画の内容について時間をかけ検討を行なった。高齢者福祉では加算の有無にとらわれず、看取りについて家族との話し合いにより継続した。保育に関してはこれまで実績の無かった英語教育を実施、文化芸術・運動に加え、他園や小中高生との繋がりも例年以上に強化した。

入浴ニーズに対応するためソレイユでは1月から第2、4土曜日の受け入れを開始している。また、年2回のアンケートを通じて満足度や要望を把握し、対応を続ける中で高い評価を得ることができたと実感している。

前年度改修した出雲サンホームでは新たにシアタールームを整備し、余暇の充実を図り中庭も改修し過ごしやすい環境づくりを進めた。

令和8年年明け早々には震度5強の地震があり、日中であったため大きな被害は無かったが課題として挙がったものもあり継続して検証していく。

2) 変わりゆく制度や環境に対応しながら、従来の福祉（保育）施設としての機能を向上させます

障害、高齢の相談支援専門員やケアマネはそれぞれ在宅サービス利用者の避難確保計画について策定を継続した。

出雲サンホームのシアタールームや中庭整備は上記のとおり、その他出雲サンサン保育園では老朽化した園内の修繕を継続している。サン・スマイルのデイサービスでは“脳リハ”であるアミューズメント企画が大人気で令和8年度には定員を25名とする予定である。

サン・スマイルと出雲サンホームにおいては行事の都度、保育園園児をゲストとして利用者・園児の交流を深めている。

3) 法人や施設の発展的継続のため、可能な限りサービス提供範囲を広めます

4月からリージョナルコネクトチーム（RCT）が稼働し、出雲サンホームにおいては島根県内全域、サン・スマイルは出雲・大田・雲南市内への広報を行なった。その結果、特に顕著な成果が伺えたのはサン・スマイルによる大田市へのアプローチだった。施設入所、短期入所にかかる問い合わせが多数あり稼働率維持を支えた。

また、出雲サンホームにおいても遠方からの見学が急増、年度初めの入所者数は54人であったものが半年後の10月には5年半振りの満床（60名）までこぎつけた。

放課後等デイサービスにおいても大田市からの児童受け入れを実現するため職員の勤務時間や送迎時間などの検討を続けている。

4) 継続的な高利用率の確保により安定的な財務基盤を固持し、将来に備えます

出雲サンホームの入所利用者は年度当初9割程度の水準でスタートしたが、広報活動の成果が表れ3ヶ月で95%を超え、半年で満床まで辿り着いた。入所待機者が少数で限られた中、情報収集による満床維持が必要。一方地域福祉サービスセンターソレイユでは中々利用が伸びず、

利用者ニーズに合わせ1月から土曜日（第2、4）営業を開始している。

サン・スマイルは広報効果があるものの入所者は入れ替わりが激しく定員50名に対し45名強という平均利用となった。その代わり短期入所で平均6名、デイサービス平均20名となり前年度を超える収入となった。

出雲サンサン保育園の園児数は前年を下回る結果であったが定員超の安定した数を維持しており、今年度は公定価格増と人事院勧告による人件費上乘せ分により収入は前年度並みとなった。総収入は9億円前後となる見込みで各施設の安定運営がこの数字に結び付いたものと言える。今後も物価上昇は避けられない状況が続くため、将来の備えとして安定運営は欠かせない。

5) 様々な角度からの職員レベルアップとIT化の推進を行ないます

研修という点については法人全体で倫理・人権研修、メンタルヘルス研修、ハラスメント研修のほか、外部講師による働きやすい職場づくりとした講演を実施した。またその研修企画について指導的職員が担当することで研修主催と受講の両面での育成が図られた。その結果、これまで対象者不足で停滞していたユニットリーダーや副主任の配置について積極的に任命が行われた。（新ユニットリーダー3名、新副主任5名）

サン・スマイルでは更なる業務効率化としてインカム導入（出雲サンホームは導入済）や補助金を利用して床走行リフターの増設を行なった。介護機器は日進月歩しており効果のあるものを選定しながら整備を続けたい。

6) 労働人口減少を見据え、職員が働き続けたい環境を検討し整備します

令和7年度、新卒・中途採用者は合計24名、多くがハローワークやホームページからの応募であり人材不足が叫ばれる中、ケアスタッフにおいては高い充足感が継続している。

サン・スマイルでは新たに業務改善委員会を設置、月1回開催によって処遇改善加算Iを取得、出雲サンホームではリニューアル会議を継続しており共に指導的職員の育成の場にもなっている。

6月に新職員歓迎イベント、8月には慰労会12月忘年会を行ない職員同士の交流を深めた。外国人雇用に関しては令和7年度も養成校であるトリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校に入学予定であるミャンマーからの留学生4名に対し修学支援を決定し、現在合計7名が在学中である。令和9年4月に2名が入職予定であり、その後特定技能実習生などの外国人雇用を本格化させたい。

7) 地域との適切で良好な関係性を築き、地域における存在感を向上します

神西地区の運営委員会に委員として出席し地区活動に協力すると同時に子育て相談などの企画へ参加した。神西福祉フォーラムは延期となったが継続して同地区の社会福祉法人とともに令和8年度の開催に向け協力する。ボランティア活動としても文化祭や夏祭りでの大判焼き販売、神西湖一斉清掃への参加、出雲市社会協議会が主催するフードドライブにも協力した。迎える側としても出雲西高校インターアクト部をはじめ車椅子清掃や神西幸楽会など各施設において様々なボランティア団体にお越し頂き、良好な関係性を築いている。

2. 法人運営会議及び法人企画委員会の評価・反省・課題

令和7年度における各法人企画委員会の活動状況について報告する。

苦情解決委員会

各施設ともに苦情として挙げたものは数件あったが大事になることなく、再検証までのところで解決されるものであった。それぞれに利用者や家族（保護者）に対するアンケート調査を行ない、有難い言葉を頂戴している。

苦情の向かう先が施設ではなく、家族同士といったケースもあり、多様化が進んでいる中、今年10月にはカスタマーハラスメントに対する職場の対策が義務化されることが決まっており、苦情とハラスメントの境界が難しい福祉サービスにとっては、厚生労働省からの指針を十分に検討しながら進めていく必要がある。

人財獲得委員会

昨今、委員会のメイン活動としては新卒に向けたPRが中心である。春先から夏までに開催される就職フェアへのブース参加や、そのイベント向けの動画作成となる。理由としては、常時大人数の求人を必要としていないこと、令和7年度に関しては主として中途採用はハローワークとホームページで応募があったことが挙がる。

新卒の採用に関しては年々厳しさが増しており効果的な手段も見当たらない、SNSによる広報など相手の見えないかたちで手探りしていく。

人財育成定着委員会

年度を通じて研修を企画し実行した。研修の方向性だけは本委員会にて決定し、内容については指導的職員が担当となって検討し実行へ移していった。倫理・人権研修の他、メンタルヘルス研修やハラスメント研修、外部講師を呼んでの働きやすい職場環境のための研修など盛り沢山の研修が実施できた。

年度後半には定着のための福利厚生制度について議論する回数が増え、様々な案が出されており来年度の実現に繋げていきたい。

防災対策委員会

9月の防災の日に合わせて職員向けの災害時一斉メールをテスト送信した。結果としては多くの職員からの反応があるものの、一定数からの返信がないことで実際の災害発生時（特に地震）に連絡が取れないという不具合が考えられる。今一度メールの意義を周知徹底する必要がある。

また、1月6日には安来市を震源地とする震度5強の地震が発生。日中の発生であり施設には職員も多く勤務していたことで全体の安全確認や建物の状況などを把握することはできたが、避難場所の確認や家族等への連絡等、再度確認しておく課題も見つかり、検討を継続していく。

恵寿会ボランティア委員会

今年度も例年通りのボランティア活動が実施できた。中でも大判焼き販売はコロナ禍以前のような活況となり、短時間で多数の販売が可能になってきた。ただ一方でボランティア活動に参加する職員が毎年同じ顔触れとなっており、職員負担のことや大判焼き作りの担当者が限定されてし

まい、継続性が危ぶまれる状況も見えてきた。職員に対するPR活動も同時進行が必要である。

出雲サンホーム リニューアルプロジェクト（R-PJ）

改修工事終了後の今年度は、まずシアタールームの完備であった。これによって毎日映画上映が行われ利用者の方には喜ばれた。またシアタールーム隣のスペース活用として障害者スポーツやアミューズメント企画なども検討を行なった。

地域福祉サービスセンターソレイユの利用増について、月1回のバイキング昼食を開始したり、入浴ニーズに合わせて土曜日営業を開始した。

満床にはなったものの、一定数の入れ替わりがありリージョナルコネクトチームと連携をしながら利用者確保について考えなくてはならない。

リージョナルコネクトチーム（RCT 地域を繋ぐチーム）

施設広報と利用者確保のために立上げたチーム。5月を皮切りに障害チームは県内全域を、高齢チームは出雲・大田・雲南市を広報した。その結果は主要事項3)で前述のとおりである。

こちらの情報を提供しながら、それぞれ情報を得ることで問い合わせが増加し利用者確保に繋がった。

とは言え県内全域での人口減少と高齢化は進んでおり、高齢者はともかく障害者数については減少が明確であり新たな一手を模索している。

3. 資料

1) 理事会開催状況

開催日	理事会	審議・報告内容
令和7年6月4日	176回	1. 令和6年度事業報告について 2. 令和6年度決算について 3. 理事・監事候補者の選任について 4. 評議員候補者の選任について 5. 第76回定時評議員会の招集について 6. 評議員選任・解任委員会の招集について 7. 諸規程の改定について 報告事項 理事長の職務執行状況について報告
令和7年6月25日	177回	1. 理事長の選定について
令和7年11月18日	178回	1. 諸規程の制定及び改定について
令和8年3月4日	179回	1. 令和7年度資金収支第一次補正予算について 2. 令和8年度経営方針・事業計画について 3. 令和8年度資金収支予算について 4. 諸規程の改定について 5. 令和8年度資金運用計画について 6. 第77回臨時評議員会の招集について 報告事項 理事長の職務執行状況について 令和7年度資金運用報告について報告

2) 評議員会開催状況

開催日	評議員会	審議内容
令和7年6月25日	76回	1. 令和6年度決算について 2. 理事及び監事の選任について 報告事項 令和6年度事業報告について報告
令和8年3月18日	77回	1. 令和7年度資金収支第一次補正予算について 2. 令和8年度経営方針・事業計画について 3. 令和8年度資金収支予算について

3) 法人運営会議開催状況

開催日	回	協議・検討事項
令和7年4月9日	1回	1. 令和7年度法人企画委員会担当者について 2. 各施設の運営状況について 3. スケジュール確認（5月、6月） 4. 給食委託について（委託業者提案）
令和7年5月21日	2回	1. 法人企画委員会審議 2. 各施設の運営状況について 3. スケジュール確認（6月、7月） 4. 評議員選任解任委員会の開催について 5. 第176回、第177回理事会、第76回評議員会議題について
令和7年6月18日	3回	1. 法人企画委員会審議 2. 各施設の運営状況について 3. 夏季賞与及び定期昇給について 4. 処遇改善加算の支給について 5. 給与明細書のオンライン化について
令和7年7月16日	4回	1. 法人企画委員会審議 2. 各施設の運営状況について 3. スケジュール確認（7月）
令和7年8月20日	5回	1. 法人企画委員会審議 2. 各施設の運営状況について
令和7年9月10日	6回	1. 法人企画委員会審議 2. 各施設の運営状況について 3. 上期人事考課日程について 4. 最低賃金決定に伴う変更について
令和7年10月22日	7回	1. 法人企画委員会審議 2. 各施設の運営状況について 3. 第178回理事会議題について 4. 職員インフルエンザ接種日程確認
令和7年11月19日	8回	1. 法人企画委員会審議 2. 各施設の運営状況について 3. 恵寿会忘年会について 4. 法人指導監査について
令和7年12月17日	9回	1. 法人企画委員会審議 2. 各施設の運営状況について 3. 正職員登用試験について 4. 内部経理監査について 5. 年末年始スケジュール確認
令和8年1月14日	10回	1. 法人企画委員会審議

		<ul style="list-style-type: none"> 2. 各施設の運営状況について 3. 理事会・評議員会日程調整 4. 来年度経営方針・事業計画について 5. 処遇改善加算の見込と支給について 6. 介護支援ソフトの更新について
令和8年2月25日	11回	<ul style="list-style-type: none"> 1. 法人企画委員会審議 2. 各施設の運営状況について 3. 一般事業主行動計画 女性活躍推進法版について 4. 第179回理事会、第77回評議員会議題について 5. スケジュール確認（3月、4月）